シャンプーのCM撮影！男の子と女の子がすっぽんぽんで並んで歌う！中には中学生も・・・

これは過去にあったとされる今では考えられないCM撮影の裏側の話。

都内のとあるスタジオに建てられた、広々とした浴室風のセット。上から複数のシャワーヘッドからお湯が降り注ぐ形になっている。

演者として、小学校低学年～中学1年生までの男女半々、15人ほどの子どもたちが集められていた。

撮影の構図としては、最前列に低学年、二列目に中学年、最後列に高学年と中学生が並ぶ形だ。

撮影開始前に監督から指示が出た。

「よし、シャワーだしお風呂場ってことだから。みんなすっぽんぽんになろう！でも高学年と中学生の女の子は念のため水着着用でいこう」

男の子たちと中学年までの女の子たちは全員、服を全部脱ぎ全裸にさせられて待機した。高学年と中学生の男の子たちは、隣に立つ同い年の女の子たちが水着を着せられているのを見て微妙な顔をした。

「男だから大丈夫でしょ、って感じか……差別じゃね……」

心の中でそう呟く男の子もいた。同い年の女の子が水着を着ているのに、自分は年少組の男の子たちと同じくフルチン丸出し。

でも監督の指示だからと黙ってその場に立っていた。

監督がメガホンを構える。

「じゃあ、みんなで歌いながら水かけ合って！ 自然にはしゃいで！」

上から降り注ぐシャワーが、裸の身体を濡らす。みんな声を上げてはしゃぎ始めた。水鉄砲やおもちゃを手に取り、互いに水をかけ合い、歌声が響く。

最後列に立つ高学年と中学生の子たちも楽しそうにはしゃぐ。

しかし、監督が急に手を止めた。

「カット！　……ん一、やっぱ変だな」

みんなの動きが止まる。監督は顎に手を当て、じっと全員を見つめた後、はっきりと言った。

「みんなすっぽんぽんに脱がないとおかしい。シャワーだし、風呂っぽい演出なんだから。後ろの水着の女の子たちも、ごめん、脱いでくれ」

最後列の子たちが、思わず顔を見合わせた。中学生の男の子の一人は、耳を疑ったように瞬きを繰り返す。隣に立つ中学生の女の子が、少しだけ躊躇したように唇を噛んだ後、ゆっくりと水着の紐に手をかけた。

「……わかりました」